

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】令和4年10月31日(2022.10.31)

【公開番号】特開2021-159453(P2021-159453A)

【公開日】令和3年10月11日(2021.10.11)

【年通号数】公開・登録公報2021-049

【出願番号】特願2020-65575(P2020-65575)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

10

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 6 Z

A 6 3 F 7/02 3 0 4 Z

A 6 3 F 7/02 3 2 0

A 6 3 F 7/02 3 1 5 A

【手続補正書】

【提出日】令和4年10月21日(2022.10.21)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

20

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

始動口への入球に基づいて図柄の変動表示を行い、該図柄の変動表示の結果として大当たり図柄が停止表示されることで大当たり状態に制御可能な遊技機において、

前記始動口に遊技球が入球した場合に、該入球に関連した計数値を更新する計数値更新手段と、

前記計数値が特定値になることで、前記大当たり状態とは異なる特定状態に制御する特定状態制御手段と、

当該遊技機の電源が投入される際に当該遊技機を初期化可能な初期化手段と、

を備え、

当該遊技機に対して第1の電源投入操作が行われた場合には、前記計数値が前記初期化手段により初期化される一方で、当該遊技機に対して第2の電源投入操作が行われた場合には、前記計数値が前記初期化手段により初期化されることなく維持される

ことを特徴とする遊技機。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

40

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

上記した目的を達成するために、請求項1に係る発明においては、

始動口への入球に基づいて図柄の変動表示を行い、該図柄の変動表示の結果として大当たり図柄が停止表示されることで大当たり状態に制御可能な遊技機において、

前記始動口に遊技球が入球した場合に、該入球に関連した計数値を更新する計数値更新手段と、

前記計数値が特定値になることで、前記大当たり状態とは異なる特定状態に制御する特定状態制御手段と、

50

当該遊技機の電源が投入される際に当該遊技機を初期化可能な初期化手段と、
を備え、

当該遊技機に対して第1の電源投入操作が行われた場合には、前記計数値が前記初期化
手段により初期化される一方で、当該遊技機に対して第2の電源投入操作が行われた場合
には、前記計数値が前記初期化手段により初期化されることなく維持される

ことを特徴とする。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

上記構成では、始動口に遊技球が入球した場合に、該入球に関連した計数値を更新し、
計数値が特定値になることで特定状態に制御するとともに、計数値を初期化するか否かに
ついては、遊技機の状態を初期化する際にホール管理者が任意で選択することができる。
その結果、ホールにおいて運用し易くすることができる（例えば、段落2250～229
0、図210～211等の記載を参照）。

10

20

30

40

50